

行ってきました

民生福祉委員会視察研修

高橋よしひろ の 議会活動通信

2009年10月10日号

袋井市大谷245 48-6100

私高橋は、市議会民生福祉委員会の視察研修で9月29日東京都台東区、30日岩手県釜石市、10月1日青森県おいらせ町を訪問しました。その内容を報告します。

指定管理で運営する台東区立病院

都立病院が老朽化や高度医療の実施が困難と平成8年3月をもって休止となった。区は住民の存続を求める要望を受け、「今後のあり方」を検討。跡地に高齢者の「慢性期医療を担う拠点病院」として老人保健施設と一体的に整備し、区が建設、運営は指定管理で民間に委ねるとして、平成18年着工8月、今年4月より開設された。建設費は66億円余。

病院の概要

敷地面積5087㎡、延床面積17,328㎡
免震構造、鉄筋コンクリート造8階建て
診療科目（常勤）内科、整形外科、リハビリテーション科
（非常勤）眼科、泌尿器科等4科
病床数 120床（一般40床、療養病床80床）
老人保健施設、入所定員150床、
通所リハビリ1日40人
地域連携相談室



指定管理受託の「地域医療振興会」とは

自治医はへき地医療を担う役割から、何でも診れる医者を目指している。その卒業生で組織され会員は1600人ほど、各地で42施設の運営を受託している。ここでも総合診療科方式をとっている。医師はネットワークで確保できるとのこと。訪問看護、包括支援センターの役割も担い、地域連携相談室が医療、介護の様々な相談に応じており、大きな役割を果たしている。

旧市民病院を活用した

釜石市保健福祉センター

人口減少や医師不足もあって、釜石市民病院は県立釜石病院に平成19年4月に統合された。釜石市は、市民病院施設をリニューアルし、保健・医療・福祉・生涯学習の中核となる保健福祉センターとして平成19年より開設させた。

施設の概要

敷地面積 10,188㎡、延床面積12,735㎡
民間の釜石のぞみ病院（一般病症52床、療養病床102床）のほか3つの診療所が開設されている。また市の保健福祉部や社会福祉協議会も入所。改修費用は3億円ほど。

市の役割は保健福祉事業中心に

病院統合で、県が医療を担い、市は保健福祉事業を担う役割分担が明確となった。釜石市は平成18年「かまいし健康ルネサンス構想」を策定。①病院統合再編整備・病院と開業医の連携、②各地域に「生活応援センター」を設置、協働による健康安心づくりの推進、③市民病院施設を利用した保健福祉センター的な複合施設の開設で各事業の効果的展開を目指すこととした。

市独自の「地域生活応援システム」

市内7ヶ所に「生活応援センター」を設置。保健師など職員を配置し、健康相談、訪問活動を行い、また健康づくり事業を住民との協働で進めている。



おいらせ町の「でてこいセンター」ふれすと

青森県おいらせ町にある大型ショッピングセンター内でデイサービス事業を実施しているNPO フィフティの理事長熊谷啓子氏のお話を伺いました。定員15人の小規模なデイサービス実施と施設内を案内するガイドヘルパーの派遣をしています。通所者は買い物や映画を楽しむなどいきいきしている姿やショッピングセンター内を車椅子で自由に往来している様子を目の当たりにし、バリアフリーがなんであるか大変勉強になりました。

感想・・・今回の台東区・釜石市の視察は市民病院の後利用を考える上で大変参考となる事例でした。またおいらせ町の視察は規制を打ち破り自身の信念を貫き実現してきた熊谷氏のバイタリティに感服しました。